



こころを育む総合フォーラムメンバー [敬称略、五十音順]

入江 杏	文筆家・ケアミーツアート研究所代表・上智大学グリーンケア研究所 非常勤講師
小国 綾子	毎日新聞ジャーナリスト
工藤 啓	認定NPO法人育て上げネット 理事長
玄田 有史	東京大学社会科学研究所 教授
鈴木 みゆき	國學院大學人間開発学部子ども支援学科 教授
高際 伊都子	渋谷教育学園渋谷中学高等学校 校長
堂本 晃代	パナソニック ホールディングス株式会社企業市民活動担当室 室長
増田 明美	スポーツジャーナリスト、大阪芸術大学 教授
山極 壽一	総合地球環境学研究所所長、前京都大学 総長
鷺田 清一(座長)	大阪大学 名誉教授

公益財団法人 パナソニック教育財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-10 第2ローレルビル6階
TEL.03-5521-6100 FAX.03-5521-6200

<https://www.pef.or.jp/kokoro-forum/>



2024年度
子どもたちの
“こころを育む活動”
表彰式

2025年2月7日[金]

日比谷三井カンファレンス

- 式次第
- 一、開会
 - 一、主催者挨拶
 - 一、来賓祝辞
 - 一、受賞活動紹介
 - 一、表彰および受賞団体挨拶
 - 一、祝辞
 - 一、閉会

〈主催〉公益財団法人 パナソニック教育財団
〈後援〉文部科学省

子どもたちの“こころを育む活動”受賞活動

活動
テーマ

こどもをみまもる小さな町の3つの居場所

受賞
団体

特定非営利活動法人 れでいばーど [埼玉県]

〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井704-9
[E-mail] ladybird87@ozzio.jp
[代表者] 飯塚 結花(代表理事) [HP] https://ameblo.jp/ladybird-2011

活動
概要

町の中に、〈さまざまな体験ができる子ども食堂〉(食育体験や交流ができる農園)〈緩やかな学習支援の場となる文庫〉を創設しました。いずれも子どもたちが自分の意志で参加できるように、利用者の制限がなく、予約不要で無料です。子どもたちは、3つの居場所で安心して過ごすとともに、食育、科学実験、お祭りなどの多彩な体験を通して学区や世代を超えて幅広く交流し、好奇心の芽を育てています。経済的・体験的な格差のない成長過程を目指して、地域ぐるみで子どもたちの成長をサポートし、子育て家庭を応援する活動です。



誰でも気兼ねなく利用できるコミュニティ型の食堂は「ただいま」[おかえり]の声が飛び交うアットホームな雰囲気です。

審査
講評

地域の特長を活かし、地域で連携しながら、さまざまな居場所やイベントを通して総合的に子どもたちがのびやかに育つ環境を作り出している点が高く評価されました。これからの居場所づくりの好事例と言えます。

活動
テーマ

継続はチカラになり、カタチになる

受賞
団体

美容師交流会・美容師ボランティア団体 OneStep [千葉県]

〒274-0077 千葉県船橋市薬円台1-5-9 エムワンテラス103 hair salon sun crest内
[E-mail] info@onestep2012.org
[代表者] 丸井 教彰(代表) [HP] http://onestep2012.org

活動
概要

美容の技術を生かして社会貢献を目指す美容師ボランティア団体「OneStep」(任意団体)は、千葉県内の児童養護施設を訪ね、子どもたちのボランティアカットをする活動を10年前から続けています。髪を切ることを通して、肩越しにさまざまな会話をし、カットの前には一緒に遊んだり、お菓子をプレゼントしたりと、子どもたちが心を開放できるようなコミュニケーションの機会を創り出していることが特徴です。定期的に訪れる美容師とのふれあいから社会を知り、自分の未来に思いを馳せ、心豊かに成長していく契機となっています。



温かい雰囲気のなか会話が弾み、子どもたちは鏡の中で次第に変化していく自分の姿を見て、はにかみながらも自然と笑顔になっていきます。

審査
講評

美容師ならではの高いコミュニケーション力と子どもたちとの間に築かれたナナメの関係性が、子どもたちに癒しや希望を与えている点が高く評価されました。このようなプロボノ活動が増えていくことが期待されます。

活動
テーマ

児童養護施設の子どもたちとのふるさとづくり

受賞
団体

特定非営利活動法人 東京里山開拓団 [東京都]

[E-mail] kaitaku-jimu@googlegroups.com
[代表者] 堀崎 茂(代表) [HP] https://satoyamapioneers.web.fc2.com/
[活動場所] 東京都八王子市、世田谷区、豊島区

活動
概要

虐待や貧困などから家に戻れない児童養護施設の子どもたちと、荒れた山林や空き家を再生し、ふるさとを自らつくり出すボランティア活動です。里山では、道やかまど、ツリーハウスなどを一緒に作り上げました。ふもとでは、ゴミ屋敷化した築300年の古民家を改修し、ふるさとの家「さとごころりん美山」を開設して憩いの空間に再生。都心では空き家を改修し、「まちごころりん世田谷/豊島」として施設退所者に5年間無料で提供しています。開拓者精神を発揮したふるさとづくりは、こころの安定や自信を生み、社会課題の解決に貢献しています。



里山開拓には12年で2000人以上が参加。木で小屋をつくるなど、子どもたちはのびのびと行動し、自然と笑顔に。

審査
講評

子どもたちが主体的に、そして楽しみながら自分たちの居場所づくりをしている点が高く評価されました。そこで培われた開拓者精神が、挑戦心やゼロからつくり上げる力を育み、子どもたちの自立を促しています。

今年度は全国より214件もの「子どもたちの“こころを育む活動”」のご応募をいただきました。厳正なる選考に基づいて選ばれた今年度の受賞活動6件をご紹介します。

活動
テーマ

「出会い」を重視した日常の関係づくりの場

受賞
団体

裾野市東地区 おやじの会 [静岡県]

〒410-1121 静岡県裾野市茶畑2036-23
[E-mail] higashi0049@gmail.com
[代表者] 小田 圭介(会長) [HP] https://www.facebook.com/susonohigashioyaji

活動
概要

地域の少子化や孤立といった課題に対してアプローチしています。地域づくりは非日常的なイベントではなく、日常の幸せづくりであるという考え。月1回のお泊り会「何にもしない合宿」を中心に活動しています。参加者は小学生から社会人まで幅広く、毎回100人前後が集まります。世帯収入が低い家庭ほど学外体験ゼロの子どもの割合が高くなります。そうした体験格差を埋める役割も果たしています。単なる体験提供ではなく、地域のつながりを強化し社会性を育みます。消防団との連携や、スポーツ教室の開催など、活動の幅を広げています。



小学生の時に参加していた子が、中学生、高校生になって「また、来たい」と。そのうちに参加年齢層が広がりました。

審査
講評

どこの地域でもすぐに始めることができる拡がりやすさが高く評価されました。地域全体で子どもたちを見守り、育むコンセプトや、継続させることに重点を置いている点もこの活動の優れているポイントです。

活動
テーマ

精神疾患の親をもつ子どもへの伴走支援

受賞
団体

NPO法人 CoCoTELI [大阪府]

〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町1-7-1 堺筋高橋ビル5階B-506
[E-mail] toi.hirai@cocoteli.co
[代表者] 平井 登威(理事長) 【お問い合わせ】 https://cocoteli.com/inquiry

活動
概要

精神疾患の親を持つ子どもは、周囲に話を打ち明けにくく、悩みを抱え込みがちです。子どもたちが安心して相談できる居場所や、同じような経験を持つ仲間との出会いの場をオンライン上に提供。掲示板の書き込みは北海道から沖縄まで。また、運営メンバーや専門的な知識をもつ人と個別相談を受けることもでき、必要に応じて具体的な支援と一緒に考えていきます。イベントや交流会、ピアサポーター養成講座も実施。全国の子ども、若者と出会える居場所づくりや相談支援を行っています。



イベントではゲストを招くことも。交流会のほうは、雑談できる気軽な会が月4回、悩みを話せるものが月2回。

審査
講評

表面化されにくい社会課題に対し、公的な支援を受けにくいソーシャルメディアを活用して正面から取り組んでいる点が高く評価されました。このようなオンラインの活動が社会的にも支持されていくことが期待されます。

活動
テーマ

創作エイサーを通じ広がる、子ども達の世界

受賞
団体

今帰仁子供太鼓いまじん [沖縄県]

〒905-0401 沖縄県国頭郡今帰仁村字仲宗根302
【お問い合わせ】 https://forms.gle/G9zBBahnGkXWET136
[代表者] 山川 源太(団長) [担当者] 高良 琴美(副団長)
[HP] https://www.instagram.com/imajintaiko

活動
概要

今帰仁子供太鼓いまじんは、30年前の1994年に県内で最初の子ども創作エイサー団体として、指導者・玉城みちよと小学生13名で発足しました。毎週土曜日の夕方2時間、公民館で練習。高齢者施設の慰問演舞や震災関連イベントでの自主演舞を通じ、当事者についての学びを深めたり、数年に一度の海外遠征では多様な価値観に触れ、異国の文化や他者を理解したりと、子どもたちが視野を広げることを目指して活動しています。大きな声と動きが特徴のエイサーは、自分に自信を持って生きていくための武器となって子どもたちを支えます。



「イーサーサー」という大きなかけ声、太鼓をたたきながら手足を大きく使うパフォーマンスが特徴のエイサー。

審査
講評

地元の伝統文化を身につける過程で、子どもたちが自信を深め、自己の確立、地域愛を醸成しています。また、子ども同士で教えあい、支え合うことを通じて、次世代育成が自然と循環している点も高く評価されました。